

# 西濃農林事務所の普及活動状況

平成25年2月27日現在

## 今月の重点活動

### ■小麦 全国麦作共励会で全農会長賞受賞！

平成24年度全国麦作共励会の「集団の部」において、養老町の(有)クリーンファーム日吉が全国農業協同組合連合会長賞を受賞し、2月20日に東京都内で表彰式が行われた。

当法人は、小麦の安定収量の確保と高品質化のため、5m間隔に明渠を設置し、定期的に点検・補修を行うなど、排水対策を最重要技術として位置づけている。また、土壌診断に基づく土づくり、高性能大型機械の導入による低コスト・省力化に取り組んでおり、地域の小麦栽培の模範として期待されている。

農業普及課では、今後もJAにしみのと連携し、小麦をはじめとする土地利用型作物と小松菜等の施設野菜との両立による経営安定について支援することとしている。



【表彰を受ける代表ら】

## 活力ある新産地づくり

### ■ブロッコリー 視察研修会の開催

1月22日に、JA、市町担当者を含む49名参加のもと、滋賀県大中ブロッコリー部会とタキイ研究農場への視察研修を行い、滋賀県における栽培状況や品種構成、現在栽培されている品種の特性等について学ぶことができた。

農業普及課からは、今年の栽培状況や試験ほの生育調査を踏まえながら、当面の管理ポイントについて説明した。



【視察研修の様子】

## 売れる農畜産物づくり

### ■小麦 穂肥の適期施用

昨年11月から続く低温傾向により、全般に小麦の生育が遅れており、葉齢、茎数ともに平年より少なめとなっている。イワイノダイチは、ほぼ順調に生育しているが、12月以降播種の農林61号では、低温・湿害等により出芽が遅れ、生育不良となっている。逆に、早期播種の農林61号では、縞萎縮病によると思われる葉の黄化症状が散見される。

今後は、定期的な明渠の点検・補修により、排水対策を徹底するとともに、小麦の生育に合わせた穂肥の適期・適切な施用について支援することとしている。

### ■トマト 各トマト生産組織における研修会の開催

池辺園芸トマト組合で2月13日、海津トマト部会で2月15日に、栽培研修会が開催された。

厳寒期から春期に向けた栽培管理のポイント、定期的に分析を実施している栄養診断（硝酸態窒素、カリ、リン酸）の経過を踏まえた施肥管理について、農業普及課から説明を行った。これから収穫最盛期を迎えることから、追肥等について熱心な意見交換が行われた。



【研修会の様子】

### ■きゅうり 目揃会の開催

2月1日に、半促成栽培の目揃会が開催され、これまでの生育状況や病害虫の発生状況、日焼け果防止対策、きゅうり黄化えそ病対策等の今後の栽培管理について説明した。

半促成栽培（12月定植）の生育は概ね順調で、黄化えそ病の発生は昨年より少ないが、一部でミナミキイロアザミウマの発生が認められるため、防除対策について支援している。

## ■いちご 生育遅れが続く

腋果房は、1月下旬頃より収穫が始まり、2月中旬～下旬にピークを迎えている。3番果房は、草勢の回復の早いほ場では開花盛期となっている。2月中旬頃から、厳冬期の管理から迎春期の管理へと切り替わってきている。

ハダニ類の増加したハウスが一部であり、定期的な防除の実施を指導している。

## ■茶 平成25年産茶の生産に向けた栽培支援

不帰茶生産組合を対象に、2月9日に栽培研修会を実施した。カイガラムシ類が難防除害虫として問題になっていることから、冬期防除の実施や高品質茶生産に向けた意識統一を図るため支援を行った。

## ■フランネルフラワー 関係機関によるほ場巡回指導実施

2月7日に、農業技術センター職員、農業革新支援専門員とともに管内の生産ほ場を巡回し、生育状況、病虫害発生状況等の確認を行うとともに、今後の栽培管理について指導を行った。

また、今年から栽培を始める新規生産者に対しては、作型、品種、播種、栽培管理等の助言を行った。



【ほ場巡回の様子】

## 多様な担い手の育成・確保

### ■女性組織 農村女性出張講座開催

1月22日に、西濃ブロック女性農業経営アドバイザーを対象に、農村女性出張講座を開催した。

白川町農村女性の介護体験を聞き、男女共同参画について意見交換を行い、農業普及課から、農村におけるワークライフバランスのための家族経営協定について啓発した。

また、女性農業経営アドバイザー2名の活動紹介により、アドバイザーの役割について再認識することができた。



【農村女性出張講座の様子】

## 魅力ある農村づくり

### ■鳥獣害対策 大垣市上石津町で最初の猪鹿無猿柵設置

2月14日に、上石津町下山の営農組合が受託する水田において、大垣市のモデル獣害柵として、800mの猪鹿無猿柵設置の準備を行った。

2月16、17日には、地元住民が参加して柵設置作業を行い、農業普及課と岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター県派遣職員から、柵設置作業の技術支援を行った。



【設置された猪鹿無猿柵】

## 県民みんなで育む農業・農村

### ■農業体験・食育等 小学校柿園運営支援 粗皮削り作業

2月12日に、海津市立城山小の児童65人が、学校柿園の粗皮削り作業を体験した。農業普及課から、粗皮削りの目的と作業方法について説明し、作業を実演した後、児童は班ごとに分かれ、丁寧に粗皮削りを行った。

今回の作業をもって栽培体験は終了するため、最後に農業普及課から、今回の体験を機会とし、自宅に柿園がある人は栽培作業を手伝うように働きかけた。



【柿園の粗皮削り】